

淀川製鋼グループ長期ビジョン「桜 (SAKURA) 100」

当社は 2025 年の創立 90 周年に向けて、さらには 100 年企業への発展を見据えて、当社のシンボルマークである桜のように、新たな領域に挑戦する心と変化に順応する機動力を持って、持続的に成長いたします。



たおやかな桜

桜は地域ごとの多様性を持つ植物として知られ、また人の手で、花の色・形、樹の形、虫害や寒暖への強さなど、様々な特徴を持った品種への改良が行われています。
様々な環境の変化にたおやかに順応し、様々な個性を持つ桜のような姿を、当社グループは目指します。

花咲く桜

桜は毎年新しい花を満開に咲かせ、私たちは桜の開花を心待ちにします。毎年新しい花を咲かせる桜のように、新しい事業領域に挑戦し続ける姿を、当社グループは目指します。

SAKURA

桜は日本で最も愛される花であり、日本を代表する花「SAKURA」として海外でも愛されています。また、桜は生命力にあふれた長寿の木であり、樹齢が千年を超える木にもなります。
グローバルに愛され、永く花を咲かせるSAKURAのような姿を、当社グループは目指します。

ロゴマーク意匠の説明

淀川製鋼グループ長期ビジョン



- ①数字 100 の右側の 0 を示す桜色の円と SAKURA の末尾の A を組み合わせ、桜の木をイメージ（「桜」は「桜の木」を表している）
- ②数字 100 の左側の 0 を示す赤い円は、日の丸、さらには日系企業グループをイメージ
- ③漢字の「桜」はロゴマーク「淀川製鋼所」と同じ書体を使用